

# Press Release



**TOKAI TOKYO FINANCIAL HOLDINGS, INC.**

2026年7月8日

各 位

東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社  
代表取締役社長 春日井 博  
東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
証券コード 8616 東証プライム・名証プレミア

## 東海東京証券 「宮城県サステナビリティボンド」引受けのお知らせ

当社の子会社である東海東京証券株式会社による、宮城県が発行するサステナビリティボンド「宮城県公募公債第4回1号（5年・サステナビリティボンド）」および「宮城県公募公債第1回1号（5年・サステナビリティボンド・個人向け）愛称：宮城県立劇場幕あけボンド」の引受けについて、お知らせいたします。

以 上

2026年7月8日

各 位

東海東京証券株式会社  
名古屋市名村区名駅四丁目7番1号**「宮城県サステナビリティボンド」引受けのお知らせ**

当社はこのたび、宮城県が発行するサステナビリティボンド「宮城県公募公債第4回1号（5年・サステナビリティボンド）」（95億円）および「宮城県公募公債第1回1号（5年・サステナビリティボンド・個人向け）愛称：宮城県立劇場幕あけボンド」（5億円）※の引受けにおいて、共同主幹事を務めましたのでその概要についてお知らせいたします。

本債券は、宮城県の地球温暖化等をはじめとする環境問題の解決に資する県有施設・設備の更新・改修や河川改修等をはじめとした「グリーン適格プロジェクト」に加え、藻場造成等をはじめとした海洋保護や持続可能な漁業等に資する「ブルー適格プロジェクト」、様々な社会課題の解決に資する県有施設・設備等の更新・改修をはじめとした幅広い「ソーシャル適格プロジェクト」に充当される予定です。

当社は、地域・人を大切にする信念をもつ金融グループとして行動指針「“Social Value & Justice” comes first」を掲げ、金融・資本市場の担い手としてSDGsへの貢献の重要性を認識し、持続可能な社会の実現、SDGsの達成に向けて取り組んでいます。また、「地域経済の活性化、地域創生」を重点項目として掲げ、SDGsへの取組を推進する証券会社として、引受け・販売活動を通じたESG投資の促進や情報発信を実施しています。

今回の宮城県サステナビリティボンドの引受け・販売を通じて、環境・社会課題の解決に向けて貢献していくとともに、今後も投資家の皆さまに対してSDGs達成に寄与する新たな投資機会を提供してまいります。

## 「宮城県サステナビリティボンド」概要

発行体	宮城県	
名称	宮城県公募公債第4回1号 （5年・サステナビリティボンド）	宮城県公募公債第1回1号 （5年・サステナビリティボンド・ 個人向け） 愛称：宮城県立劇場幕あけボンド
発行額	95億円	5億円
年限	5年	

利率	2.148%
発行価格	額面 100 円につき金 100 円
主幹事	大和証券（事務）、SMBC 日興証券、東海東京証券
条件決定日	2026 年 7 月 8 日（水）
払込日（発行日）	2026 年 7 月 29 日（水）

- ※ サステナビリティボンドは、調達資金が環境問題の解決に資するグリーンプロジェクト（海洋保護や持続可能な漁業等に資するブループロジェクトを含む）及び社会課題の解決に資するソーシャルプロジェクトの双方に充当される債券です。
- ※ 本債券の発行にあたって、宮城県は「宮城県サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）から、国際資本市場協会（ICMA）が公表するグリーンボンド原則 2021、ソーシャルボンド原則 2023、サステナビリティボンド・ガイドライン 2021、環境省が公表するグリーンボンドガイドライン 2022 年版、金融庁が公表するソーシャルボンドガイドライン 2021 年版及び国際金融公社（IFC）が公表するブルーファイナンスのガイドラインへの適合性に関するセカンドオピニオンを取得しています。

以 上

本件に関するお問い合わせは、以下までお願いいたします。

東海東京フィナンシャル・ホールディングス コーポレートコミュニケーション部 03-3517-8618